

三木市記者発表資料 (令和4年7月26日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 秘書広報課	課長 正心均 (内線 2410)	広報広聴係	0794-89-2304

タイトル	
民意とらえた施策展開・伝えるから伝わる情報発信へ 三木市広報アドバイザーによる研修会を開催	
内 容	
<p>市では、「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現に向け、市の施策に対する市内外からの注目度および理解度を高め、市民に安心・喜び・誇りを感じてもらえる情報発信を推進しています。</p> <p>民意をとらえた伝わる施策展開を今後さらに充実させるため、令和4年5月から登用された谷ノ内広報アドバイザーによる広報研修を開催します。</p>	
1 日 時	①7月28日(木) 午前10時30分～正午 ②7月29日(金) 〃
2 場 所	①三木市役所 5階中会議室1・2 ② 〃 5階大会議室
3 対象者	各部署の所属長および広報連絡員
4 講 師	三木市広報アドバイザー 谷ノ内 識 氏 (博士(政策科学)、専門は広報PR論。日本広報学会理事。学校法人追手門学院広報課長。大正大学客員教授。龍谷大学非常勤講師。元NHK記者。令和3年11月～令和4年3月に三木市が実施した「複業人材登用による情報発信強化に向けた実証実験」に広報アドバイザーとして参画)
5 テーマ	自治体行政に求められる広報視点とは
セールスポイント	
<p>人口減・価値観の多様化・情報化などが進む現代において、市民参加によるまちづくりを進めるには、「民意をとらえた施策展開」と「伝えるから伝わる情報発信への転換」が必要です。研修では、これらに対応するために行政職員に求められる広報視点や方法などについて学びます。</p>	